

持続的成長を 実現していくために、 私たちは 未来に向けて 挑戦します

Sustainability



代表取締役社長 **西田義則**

私たちを取り巻く環境および課題

新型コロナウイルス感染拡大、気候変動による災害の激甚化、IT技術の進化等、社会の状況はこれまでにないスピードで刻々と変化しています。

先行きが不透明となり、将来の予測が困難な「VUCA時代」に突入した今、私たちは、この変化に柔軟かつ迅速な対応を求められています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻、それに伴う急激な円安による原油価格上昇等の不測な事態を受け、私たちを取り巻く環境も大きく変化しています。

当社はそのような時代の変化にも柔軟に対応できる企業へと成長を遂げると共に、「世のため、人のため」の企業として社会的責任を果たしつつ、この先の10年、そして、未来に向けて挑戦してまいります。

中期経営計画(2021~2023)の 目標達成に向けて

2021年度からスタートした「中期経営計画(2021~2023年度)」では、この3年間で10年後のあるべき姿を実現するための3カ年計画と位置づけ、コンプライアンスを全ての事業活動の基軸として目標達成に向け、以下の取り組みを推進しています。

基本方針

- 「世のため、人のため」の企業として社会に対する責務を果たすために、企業・経営・行動の各理念に立ち寄り、コンプライアンスを基軸とした事業活動を進一層の精神で強力に推進していく。
- 「名実ともに業界No.1」への道程として、持続的成長を実現することで過去最高利益を更新し、スーパーゼネコン系道路会社で「No.1」となる。

重点施策

- 1 人材の獲得及び育成
「企業は人なり」の実践
- 2 本業の拡大
競争に打ち勝つための戦略
- 3 新規事業の収益化
早期の収益化とカーボンニュートラルに向けた取り組みの推進
- 4 技術開発の推進
将来への飛躍を目指し、夢のある技術の開発
- 5 安全・環境・品質の向上
社会からの信頼の獲得
- 6 グループ力の強化
最強のグループ構築

新規事業の推進および新技術の開発

2020年に政府が宣言した「2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向け、大きな変革を迫られています。

「人がいきいきとする環境を創造する」大成建設グループ理念の下、私たちは、アスファルトプラントにおけるCO₂削減へ向けた取組み、カーボンニュートラルに貢献する中小水力発電事業、そして、新技術・新材料の開発の推進など、自然と社会と人に深くかかわる企業として、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた、新たな取り組みにも果敢に挑戦しています。

働き方改革の実現に向けて

新型コロナウイルス感染症の拡大は、在宅勤務、時差出勤等、働き方を考える上で大きな転機となりました。当社においても働き方改革の実現に向け、長時間労働の削減、休日取得に対する意識改善を行い、多様性のある働き方の取組みにより魅力ある職場づくりを推進していきます。

また、働き方改革を進めるには、生産性の向上が必須となることから、生産現場におけるICT舗装の推進、自動化・無人化等の工法・機械開発等、業務の効率化を図るDXの推進にも努めてまいります。

当社の未来

当社は、この先の10年、そして、その先の未来を見据え、創業者の大倉喜八郎翁の「責任と信用」「進一層」を胸に、大成建設グループの中核を担う企業として、これからも持続的成長を遂げてまいります。

昨年、当社は創立60周年を迎えました。これからも社会に必要とされるために、道路業界における「名実ともにNo.1」を目指し挑戦していきます。